

教育研究業績書

令和5年6月25日

氏名 麻生秀樹 (旧姓 森 秀樹)

研究分野	研究内容のキーワード
生活科教育, 幼小接続	生活科, 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		特記事項なし
2 作成した教科書・教材	平成8年4月 平成8年4月	生活科まちをたんけんしよう⑦ (ポプラ社) 生活科まちをたんけんしよう⑩ (ポプラ社)
3 教育上の能力に関する大学等の評価		特記事項なし
4 実務の経験を有する者についての特記事項	平成10年度 ～18年度 平成元年度 ～9年度 平成16年度 平成27年7月 22日	佐賀大学教育学部での現職教員による講義。 佐賀大学教育学部生への教育実習指導。 教育技術 (小学館) 第1学年・第2学年編集委員。 佐賀女子短期大学で, 生活科教育法の講義。
5 その他		特記事項なし

職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許	昭和55年3月 31日 昭和55年3月 31日 平成30年4月 20日 平成30年4月 20日 平成24年10月 1日	小学校教諭一級免許状 昭55小1普第1666号 (東京都教育委員会) 幼稚園教諭一級免許状 昭55幼1普753号 (東京都教育委員会) 小学校教諭専修免許状 平30小専第1号 (佐賀県教育委員会) 幼稚園教諭専修免許状 平30幼専第1号 (佐賀県教育委員会) 第二種衛生管理者
2 学校現場等での実務経験	昭和55年4月1 日～令和5年3 月31日	小学校教員37年間, 幼稚園教員1年間, 幼保連携型認定こども園教員3年間, 保育園園長1年間, 保育所型認定こども園園長1年間
3 実務の経験を有する者についての特記事項		特記事項なし
4 その他		特記事項なし

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(著書)</p> <p>1. 「吹き流し遊び」から10の姿と生活科内容(6)との関連を考える(学習指導要領と幼稚園教育要領との関係)</p> <p>2. 思いや願いを実現していく生活科の単元構成と授業づくりのポイント(学習指導要領での授業作り)</p> <p>3. 生活科・総合的学習事典 (近年の教育政策である新学習指導要領を踏まえた授業作りにあたってのポイント)</p>	<p>単著</p> <p>単著</p> <p>共著</p>	<p>令和元年10月</p> <p>令和元年12月</p> <p>令和2年3月</p>	<p>日本文教出版株式会社 日分ホームページ>my実践事例</p> <p>日本文教出版株式会社 日分ホームページ>my実践事例</p> <p>溪水社</p>	<p>強風時に5歳児が取り組んだ「吹き流し遊び」から幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を見取った。さらに、雨や風、雪などの自然を利用した遊びをもっと積極的に取り組んでいくことで、豊かな感性と表現の育成にも繋がり、生活を豊かにしていく生活科のねらいに迫る授業となっていくことができるという主張をした。</p> <p>町探検として学校近くにある高齢者が利用する施設に繰り返し行く活動を通して、思いや願いの実現を目指した授業について単元構成を授業づくりのポイントとしてまとめたもの。</p> <p>近年の教育政策である新学習指導要領を踏まえ、自校の特色ある生活科年間指導計画作成には、これまで作成してきた生活科暦と生活科マップの更新の必要性を述べている。しかし、生活科発足当時はその暦とマップは各学校であったものの、なかなか更新されていない現状があるので、今一度生活科暦と生活科マップ作成のポイントをあげ、それらを活用して地域の行事や環境を十分取り入れた「おらが学校の生活科」をしていくことを主張している。</p>
<p>(学術論文等)</p> <p>1. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を観点にした幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続(学校を巡る近年の問題である「小1プロブレム」を問題の所存にした教育実践)</p>	<p>共著</p>	<p>平成30年3月</p>	<p>明星大学通信制大学院研究紀要</p>	<p>石川真帆, 麻生秀樹, 他27名 学校を巡る近年の問題である「小1プロブレム」を問題の所存にした「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を観点にした幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続」についての修士論文の要点をまとめた。</p>

<p>2. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を観点とした幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続 ～「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」の提案を中心に～</p>	<p>共著</p>	<p>令和4年3月</p>	<p>佐賀女子短期大学研究紀要第56集</p>	<p>青柳達也, 麻生秀樹, 他11名 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を観点にした幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続」を, アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの提案を中心に論じた。</p>
<p>(学会発表等) 1. 学習指導要領改訂期における教師の意識変容に関する研究 (学習指導要領での重点課題)</p>	<p>単著</p>	<p>平成24年6月</p>	<p>日本生活科・総合的学習教育学会第21回全国大会 (徳島大会)</p>	<p>現行学習指導要領改訂の柱となった「言語活動」に対する教職員の意識についての研究である。移行期から完全実施期に実施した研修会〔佐賀県生活科・総合的学習研究会 (日本生活科・総合的学習教育学会の佐賀県支部で実施したワークショップ型研修) の成果物に対して整理を行い, 分析を加え, その変容を明らかにするとともに, 生活科・総合的な学習の時間における「言語活動」の要点について明らかにしたものである。</p>
<p>2. K幼稚園に見る「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」と保育者の役割学校を巡る近年の問題である「小1プロブレム」を研究の問題の所存にした教育実践)</p>	<p>単著</p>	<p>平成29年6月</p>	<p>日本生活科・総合的学習教育学会第26回全国大会 (東京大会)</p>	<p>次期幼稚園教育要領で示された, 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿, ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形, 標識や文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現 が保育現場でどのように育っているのかを, 幼稚園の5歳児の遊びを観察しながら見取り, そのときの保育者の5歳児への関わり方についても観察していきながら保育者の役割について明らかにしていった。</p>
<p>3. 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を生かした「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」の提案 (近</p>	<p>単著</p>	<p>令和元年6月</p>	<p>日本生活科・総合的学習教育学会第28回全国大会 (大分大会)</p>	<p>「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示され, また, 小学校学習指導要領にも「学校段階等間の接続」にこの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮することが書き加えられた。つまり, 幼</p>

<p>年の教育政策の動向を踏まえた学習指導要領と幼稚園教育要領等)</p>				<p>児教育と小学校教育のスムーズな接続には、この「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を視点とすることが重要であると考え。そこで、この「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を生かした5歳児の「アプローチカリキュラム」と第1学年の4月の「スタートカリキュラム」を作成のポイントを示して提案した。</p>
<p>4. 佐賀県小学校教育研究会生活科授業研究会佐賀県大会での指導・助言（子どもの生活の変化と学習指導要領との関連）</p>	<p>単著</p>	<p>平成26年6月</p>	<p>佐賀県小学校教育研究会生活科授業研究会佐賀県大会</p>	<p>子どもの生活の変化が学習指導要領とどのように関連して、生活科の学習が成立するのか等の指導・助言を行った。</p>
<p>5. 佐賀県教育センター生活科講座「児童が互いに気付きを質的に高め合うための授業づくり」講師（学校を巡る近年の様々な状況を踏まえた学習指導要領）</p>	<p>単著</p>	<p>平成27年6月</p>	<p>佐賀県教育センター講座</p>	<p>学校を巡る近年の様々な状況の変化を踏まえ、学習指導要領での生活科の改訂の重点である気付きを質的に高め合うための授業づくりについて、講師として講義を行った。</p>
<p>6. 佐賀県小学校教育課程研修会での指導・助言（学習指導要領での生活科学習の意義）</p>	<p>単著</p>	<p>平成27年7月</p>	<p>佐賀県小学校教育課程研修会</p>	<p>子どもの生活の変化や地域の実態を踏まえ、学校と地域が連携をした生活科実践と学習指導要領での生活科の意義を資料として提供し、参加者に指導・助言をした。</p>
<p>7. 佐賀県小学校理科教育研究大会小城・多久大会での指導・助言（平成29年告示の新学習指導要領の意義と改訂のポイント）</p>	<p>単著</p>	<p>令和元年11月</p>	<p>佐賀県小学校理科教育研究大会小城・多久大会</p>	<p>地域との連携・協働による生活科授業を行った芦刈観瀾校で授業実践について、新学習指導要領の重点政策であるカリキュラムマネジメントを踏まえた資料を提供し、参加者に指導・助言をした。</p>
<p>8. 光村図書職員研修会で講話</p>	<p>単著</p>	<p>令和3年10月</p>	<p>光村図書出版株式会社九州支社</p>	<p>光村図書出版株式会社九州支社職員を対象に、「生活科 温故創新」を演題に講話を行った。</p>

8. 光村図書第1回 オンラインセミナーで実践発表	単著	令和4年6月	光村図書出版株式会社主催	「生活科で育つ子ども，生活科で変わる教師」をテーマに，3人の生活科実践教員へのインタビューをもとに発表した。
9. 第221回佐賀県 生活科・総合的 学習研究会で実 践発表	単著	令和4年8月	第221回佐賀県 生活科・総合的 学習研究会	「生活科で育つ子ども，生活科で変わる教師」をテーマに，3人の生活科実践教員へのインタビューをもとに発表した。
10. 令和4年度教科 等部会唐津地区 生活科・総合的 な学習の時間部 会夏季研修会で 講話並びに指 導・助言	単著	令和4年8月	佐賀県教育委員 会教科等部会唐 津地区生活科・ 総合的な学習の 時間部会夏季研 修会	唐津地区の生活科・総合的な学習の時間の担当教員を対象に，「生活科・総合的な学習の時間の単元・授業づくり」を演題に講話をした。その後，第2学期からの生活科・総合的な学習の時間の実践に向けての担当教員の演習の時間に指導・助言を行った。
11. 第222回佐賀県 生活科・総合的 学習研究会で講 話	単著	令和4年11月	第222回佐賀県 生活科・総合的 学習研究会	「生活科 不易と流行」を演題に生活科の原点と生活科のこれからを講話を行った。
12. 令和4年度教科 等部会唐津地区 生活科・総合的 な学習の時間部 会研修会で指 導・助言	単著	令和5年2月	佐賀県教育委員 会教科等部会唐 津地区生活科・ 総合的な学習の 時間部会研修会	唐津地区の生活科・総合的な学習の時間の担当教員を対象に，実践をもちよった研修会で，実践についての指導・助言を行った。
13. あっふる保育 園（糸島市企業 主導型保育園） 園内研修会で講 話並びに指導・ 助言	単著	令和5年3月	あっふる保育園 園内研修会	20世紀型保育（すずめの学校）から21世紀型保育（めだかの学校）へ～あなたはどっち？～を演題に講話を行った。
(その他) 1. 生活科の研究 授業を参観して （地域と連携を した生活科授業 の意義）	単著	令和元年10月	芦刈観瀾校学校 だより	学校と地域施設との連携を行った芦刈観瀾校第1学年の生活科の授業実践の意義と児童が自分の思いや願いを実現しようとした姿を学校だよりに掲載。